

2026年7月31日

各 位

会 社 名 共英製鋼株式会社
 代表者名 代表取締役社長 坂本 尚吾
 (コード番号:5440 東証プライム)
 問合せ先 執行役員本社経営企画部長 増田 晶紀
 (TEL: 06-6346-5222)

(開示事項の経過) 米国拠点における設備投資計画の再変更に関するお知らせ

当社は、2026年7月31日開催の取締役会において、2026年1月16日に発表しました、米国拠点で当社連結子会社である Vinton Steel LLC (以下「ビントン・スチール社」といいます。)の製鋼工場の新設および圧延工場設備の大幅改造に関する設備投資計画の変更につきまして、内容を再度変更することを決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 設備投資の変更内容

項目	変更前	変更後
総投資額	327 百万米ドル	437 百万米ドル
今後の予定：① 建設工事開始	2026 年 4 月	2026 年 7 月
② 新製鋼工場の稼働開始	2027 年 3 月	2027 年 7 月
③ 圧延設備の完成および一貫商業生産開始	2027 年 10 月	2027 年 10 月 (変更なし)

2. 設備投資の変更に関する説明

当社は、中期経営計画「NeXuS II 2026」(2024～2026 年度)において、海外鉄鋼事業、特に「北米事業の強化」に向けた施策を進めており、設備の老朽化が課題であったビントン・スチール社について、製鋼工場の新設および圧延工場設備の大幅改造を行うことで、生産性向上等による収益改善・安定化を図ることを目指しています。

本件については、2026 年 1 月 16 日に、さらなる生産効率向上および生産能力増強を目的とした一部設備の追加と仕様の見直し、投資額の変更について公表いたしましたが、このほど、米国内のインフレ昂進や中東情勢の影響による建設資材価格の高騰および物流費用等の増加、テキサス州近辺での大型建設需要の急拡大に伴う建設費の上昇等により、総投資額が前回公表額を上回る 437 百万ドルに増加する見通しとなりました。増加した設備投資資金については、自己資金、銀行借入等を組み合わせ、最適な方法で調達してまいります。

なお、中期経営計画において財務 KPI に定めている自己資本比率 (50%以上)、ネット DE レシオ (0.5 倍以下) の水準については、今回の増額によっても維持される見通しです。

併せて工期についても改めて精査し、上記の通り見直しております。新ラインでの一貫商業生産の開始時期については、当初計画より変更ありません。

本設備投資は、世界初の製造技術である直送ビレット溶接・圧延技術の確立により、独自の競争力を備えた当社北米事業の基幹工場を実現するプロジェクトであり、当社グループの今後の成長の柱として、計画通りの完遂を目指してまいります。

3. 設備投資計画の概要（下線は今回の変更箇所）

- ① 設備投資：(1) 製鋼工場新設（Tenova 社製）
(2) 既存圧延設備 大幅改造（Pomini Long Rolling Mills 社製）
なお、設計・エンジニアリングはTechint E&C 社にて行う
- ② 生産能力：製鋼設備 36 万ネットトン^{※1}/年
圧延設備 36 万ネットトン/年
- ③ 投資総額：437 百万米ドル
- ④ 生産品目：鉄筋棒鋼、鉄球用丸鋼

4. 今後の予定（下線は今回の変更箇所）

- ① 建設工事開始：2026 年 7 月
- ② 新製鋼工場の稼働開始：2027 年 7 月
- ③ 新ラインでの一貫商業生産開始：2027 年 10 月

※なお、基礎工事等については予定通り完了しております。

5. 当該会社の概要

名 称：Vinton Steel LLC

所 在 地：米国テキサス州

代 表 者：社長 棗 浩一郎

事業内容：鋼材の製造・販売（鉄筋棒鋼、鉄球用丸鋼）

資 本 金：148 百万米ドル

設立年月：1962 年（共英製鋼株式会社による子会社化は 2016 年）

出資比率：KYOEI STEEL America LLC^{※2} 100%

6. 今後の見通し

本件が今期の当社グループの連結業績に与える影響はありません。なお、業績予想を修正する場合は速やかに開示いたします。

^{※1} ネットトン（NT）：約 0.907 メトリックトン（MT）

^{※2} KYOEI STEEL America LLC は、当社が 100%出資する米国での鉄鋼事業統括会社です

以上